

# 精神科平均在院日数と精神医療提供体制との関連の推移を踏まえた 精神科平均在院日数を低減させるための精神医療提供体制モデルの作成

増満 誠 中本 亮 本郷秀和 畑 香里 猪狩 崇 石崎龍二 鬼塚 香(福岡県立大学)  
松枝美智子(星槎大学大学院) 宮崎 初(第一薬科大学) 脇崎裕子(西九州大学) 山本智之(くおーれ訪問看護ステーション)

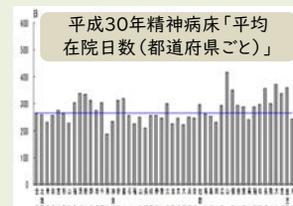
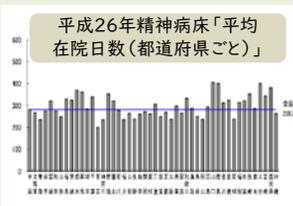
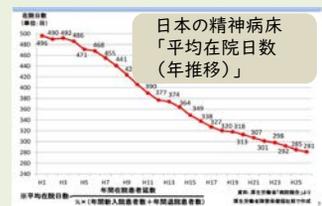
## 研究目的

精神医療の質評価指標の数値と人材をはじめとする医療提供体制の関連の推移を明らかにすることを踏まえて、精神科平均在院日数を低減するための人材をはじめとする医療提供体制のより適切なモデルを作成することを目的とした。

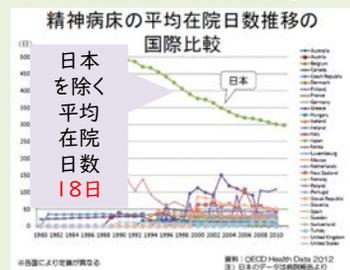
## 研究背景

### 1. 精神科における「平均在院日数」

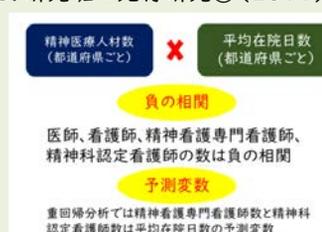
平成26年:281.2日、平成30年265.8日、令和元年265.8日、令和2年(未発表)



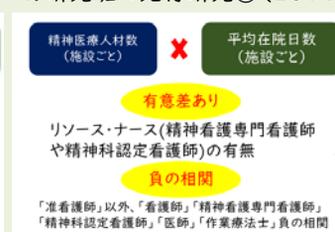
### 2. 平均在院日数の「国際比較」



### 3. 研究班の先行研究①(2017)



### 4. 研究班の先行研究②(2019, 2020)



「平均在院日数」の低下のために  
・リソースナースの配置 ・看護師(対准看護師)比率の向上  
・厚生省ガイドラインに沿った新人研修の実施 など

「平均在院日数」を200日以下にするために  
・精神保健福祉士:7名以上  
・作業療法士:14名以上  
※自動線形モデリングにて

## 研究方法

1. 研究デザイン: 量的研究デザインによる縦断研究とモデルの作成を組み合わせた混合研究デザイン

### 2. 用語の定義

#### 1) 精神科平均在院日数

当該病棟における直近12か月間の在院患者延日数を、当該12か月間の新入棟患者数+当該病棟における当該12か月間の新退棟患者数を2で除した数の小数点以下は切り上げた数。

$$\frac{12\text{か月間の在院患者延日数}}{(12\text{か月間の新入棟患者数}+12\text{か月間の新退棟患者数})\div 2}$$

#### 2) 精神保健医療福祉従事者

医師、看護師、准看護師、保健師、作業療法士、精神保健福祉士など専門職の基礎教育を受けて精神医療福祉に携わるゼネラリストと、卒後に一定の実務研修と資格取得に必要な教育や試験を受けて資格を保有する、精神保健指定医、精神看護専門看護師、精神科認定看護師のこと

#### 3) リソースナース

看護の基礎教育後に、資格取得に必要な精神看護関連の実務経験と教育(資格認定制度)を受けて資格を取得し、精神医療に従事するゼネラリストに対して、実践、相談、調整、倫理調整、教育、研究の機能を用いて援助する精神看護専門看護師(日本看護協会認定)と、実践、相談、教育の機能を用いて援助する精神科認定看護師(日本精神科看護協会認定)のこと

#### 4) 精神医療提供体制

医療人材数、精神科がある病院での新人研修の有無、退院調整支援の有無、医療機関併設の訪問看護の有無

### 3. 研究対象とデータ収集方法

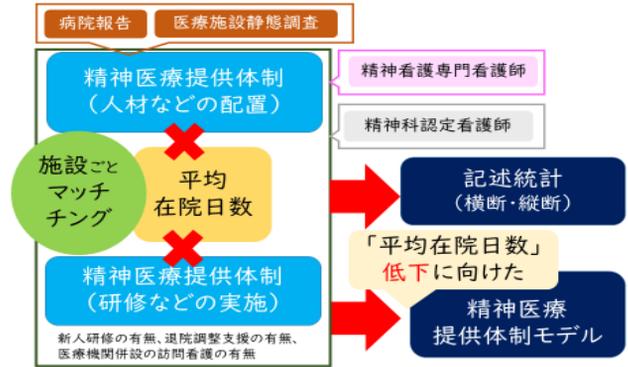
精神科がある全国の医療機関の平成27年、平成30年の厚生労働省統計データ、平成30年の各医療機関の精神看護専門看護師数、平成30年の各医療機関の精神科認定看護師数を対象。

- 厚生労働省統計のデータ
- 日本看護協会のデータ
- 日本精神科看護協会のデータ

※厚生労働省統計データ二次利用申請は、待機中(報告遅れによる提供待機措置)再開後、データ編集、マッチング、分析

### 収集データ詳細

- 厚生労働省統計のデータ(厚生労働省の許可を得て目的外利用する)
  - 平成27年、30年の病院報告の各精神科病院の当該病棟の12か月間の在院患者延日数
  - 同年の病院報告の各精神科病院の当該病棟における当該12か月間の新入棟患者数
  - 同年の病院報告の各精神科病院の当該病棟における当該12か月間の新退棟患者数
  - 同年の病院報告の各精神科の各病棟に配置されている、保健医療福祉専門職者の種類と各専門職者数
  - 平成30年の医療施設静態調査(病院票)
- 日本看護協会のデータ
  - ホームページから収集した施設名と施設に所属する精神看護専門看護師数のデータを利用する。(平成30年度のみ)
- 日本精神科看護協会のデータ(日本精神科看護協会の許可を得て目的外利用)
  - 精神科認定看護師を雇用している精神科病院又は精神科病棟がある総合病院(大学病院を含む)の施設名、当該施設に所属する精神科認定看護師の人数(平成27、30年)



### 研究「概略図」

### 4. 分析方法

IBM SPSS Ver.27 Base、同Advance、を用いて、記述統計、相関係数、人材をはじめとする医療提供体制の有無による差の検定、自動線形モデリング、経年データの差の検定を行う。IBM Modeler Professional Ver.18を用いて平均在院日数を低減させるための人材をはじめとする医療提供体制のモデルを作成する。